

# 八幡浜市駐車場事業経営戦略

令和3年3月

八幡浜市産業建設部商工観光課

## 目 次

・八幡浜市駐車場事業経営戦略 .....	1
1. 事業概要 .....	1
2. 将来の事業環境 .....	3
3. 経営の基本方針 .....	3
4. 投資・財政計画（収支計画） .....	3
5. 公営企業として実施する必要性など .....	5
表：投資・財政計画（収支計画） .....	6
経営分析比較表（令和元年度決算） .....	8

## 八幡浜市駐車場事業経営戦略

団 体 名 : 愛媛県 八幡浜市

事 業 名 : 市営駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用	事業開始年度		昭和49年度	
事業の種類	駐車場事業	施設名		新川駐車場 沖新田駐車場 駅前駐車場 北浜駐車場 朝潮橋駐車場 北浜立体駐車場 中央駐車場 新町角駐車場 千代田町ちゃんぼん駐車場 新町西駐車場	
職員数	1人(兼務)				
事業の内容	駐車場維持管理事業				
構造、収容台数等	施設名	構造	駐車場面積	収容台数	経過年数(共用開始年月日)
	新川駐車場	広場式	2,639㎡	161台	46年(昭和50年2月1日)
	沖新田駐車場	広場式	1,435㎡	49台	42年(昭和53年11月10日)
	駅前駐車場	広場式	384㎡	11台	27年(平成5年10月18日)
	北浜駐車場	広場式	350㎡	24台	35年(昭和60年4月1日)
	朝潮橋駐車場	広場式	727㎡	31台	34年(昭和61年11月1日)
	北浜立体駐車場	立体式	11,994㎡	534台	25年(平成7年4月3日)
	中央駐車場	広場式	913㎡	33台	21年(平成11年9月13日)
	新町角駐車場	広場式	179㎡	9台	9年(平成23年4月1日)
	千代田町ちゃんぼん駐車場	広場式	478㎡	18台	2年(平成30年8月1日)
新町西駐車場	広場式	88㎡	5台	0年(令和2年4月1日)	
年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	新川駐車場	19,805台	19,478台	17,893台	
	沖新田駐車場	573台	576台	588台	
	駅前駐車場	1,819台	1,930台	2,022台	
	北浜駐車場	286台	258台	264台	
	朝潮橋駐車場	303台	327台	359台	
	北浜立体駐車場	2,781台	2,573台	2,691台	
	中央駐車場	22,094台	22,849台	23,872台	
	新町角駐車場	27,427台	28,362台	29,253台	
	千代田町ちゃんぼん駐車場	-	9,158台	25,555台	
新町西駐車場	-	-	-		

	施設名		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<b>収益的収支比率</b> ※過去3年度分を記載	新川駐車場		93.5	92.5
沖新田駐車場			150.6	151.4	153.9
駅前駐車場			165.7	149.2	168.4
北浜駐車場			77.9	3,060.9	402.0
朝潮橋駐車場			1,135.0	2,025.9	2,214.1
北浜立体駐車場			257.6	252.8	301.2
中央駐車場			592.4	385.3	309.8
新町角駐車場			77.1	50.2	55.0
千代田町ちゃんぼん駐車場			-	122.8	180.3
新町西駐車場			-	-	-
	施設名		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	<b>稼働率</b> ※過去3年度分を記載	新川駐車場		32.9	32.3
沖新田駐車場			100.0	100.0	100.0
駅前駐車場			45.5	45.5	54.5
北浜駐車場			100.0	100.0	91.7
朝潮橋駐車場			100.0	100.0	96.8
北浜立体駐車場			43.3	40.1	41.9
中央駐車場			181.8	190.9	197.0
新町角駐車場			500.0	466.7	888.9
千代田町ちゃんぼん駐車場			-	177.8	388.9
新町西駐車場			-	-	-
<b>民間活用の状況</b>	ア 民間委託	-			
	イ 指定管理者制度	沖新田駐車場、北浜駐車場及び朝潮橋駐車場以外の駐車場指定管理者制度(料金代行制)			
	ウ PPP・PFI	-			

(2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

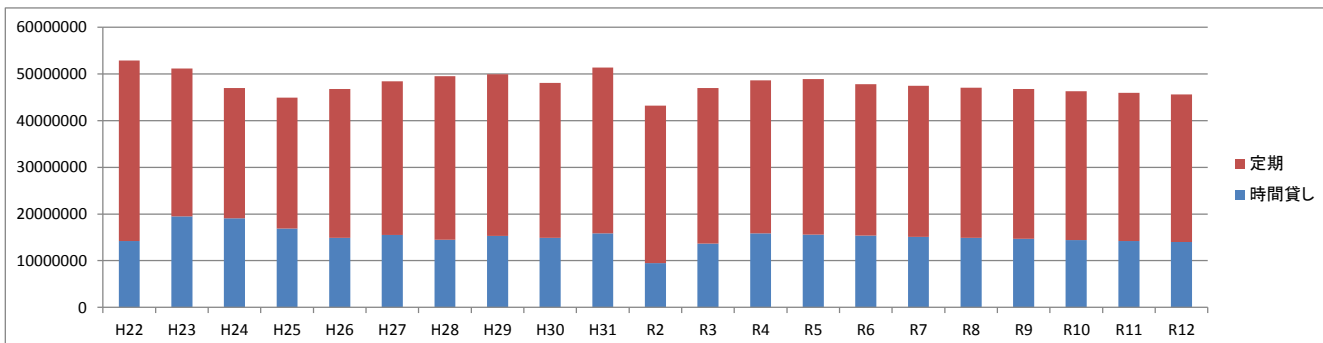
	施設名		
	<b>料金の概要・考え方</b>	<b>月極</b>	
沖新田駐車場			
北浜駐車場			
朝潮橋駐車場			
北浜立体駐車場			
<b>時間貸し</b>		新川駐車場	1回30分までごとに 1台60円 駐車した時刻から24時間までごとに 上限額1,000円
		駅前駐車場	駐車を開始した時刻から30分を超えたときから起算して、1回30分までごとに1台につき60円 駐車した時刻から24時間までごとに 上限額1,000円
		中央駐車場	
		新町角駐車場	
		千代田町ちゃんぼん駐車場	
	新町西駐車場		
近隣の駐車場の料金設定等から総合的な判断により、料金を見直している。			
<b>料金改定年月日</b> (消費税のみの改定は含まない)	令和元年10月1日		

(3) 現在の経営状況 : 別紙経営比較分析表のとおり

## 2. 将来の事業環境

### (1) 駐車場需要及び料金収入の見通し

駐車場需要及び料金収入について、過去10年の経緯をみると、多少の増減があるものの、平成25年度頃までは減少傾向にあったが、平成26年度から、道の駅八幡浜みなっこのオープンや大型商業施設の出店に伴い、時間貸し、定期共に利用者が増加したことから増加傾向にある。しかし、今後は人口減少等の影響により市営駐車場全体の売上は徐々に減少していくと見込んでいる。



### (2) 施設の見通し

新川駐車場(161台)は、昭和50年2月に仮設駐車場として開設以降4年毎の大規模改修を実施しながら運用してきたが、今後県において千丈川の嵩上げ工事を予定していることから、工事にあわせて新川駐車場の廃止及び撤去を予定している。その他駐車場については、修繕等により順次老朽化した機器等の更新を行いながら運用していく。

### (3) 組織の見通し

現在7施設において指定管理者制度を導入しており、現在は兼務職員1名体制である。今後も同様の体制で運営する予定。

## 3. 経営の基本方針

- ・道路交通の円滑化  
駐車場施設を整備することで、路上駐車を削減すること等により、道路交通の円滑化を図る。
- ・商業支援  
中心市街地への買い物客や事業者の駐車場として、市内の商業を支援する。
- ・観光活性化  
観光拠点への観光客の駐車場として、市内の観光活性化を図る。
- ・経営基盤の強化  
安定経営を図るため、指定管理者と連携して、営業活動を強化する。
- ・満足度の高いサービスの提供  
利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

## 4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

### ① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	収益の黒字を図りながら、必要に応じ老朽化した設備等の更新を行う。
-----	----------------------------------

- ・施設全体で、毎年150万円程度の修繕費を計上することで、日常的な修繕の対応を行う。
- ・指定管理者と連携を図り、今後の修繕箇所や設備投資について検討を行う。
- ・今後県において、千丈川の護岸の嵩上げ工事を予定しており、工事にあわせて新川駐車場の廃止及び撤去を予定している。

### ② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	駐車場新設等の大規模事業を除き、駐車場使用料で管理費を賄う。
-----	--------------------------------

駐車場使用料が主な収入となる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

管理する10駐車場のうち7駐車場について、指定管理者制度を導入しており、指定管理料が主な支出となる。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	指定管理者と連携を図り、民間企業のノウハウを活用する。
駐車場の配置の適正化	施設の利用状況などを勘案し、総合的に判断を行う。
投資の平準化	修繕箇所や設備投資すべき箇所を精査し、計画的な投資を行う。
その他の取組	特になし。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	定期的に近隣駐車場の料金設定を確認し、適正な料金設定を行う。
利用者増加に向けた取組	指定管理者と連携し、利用者のニーズを把握し、効果的な広告を行う。
企業債	駐車場の新設等大規模な設備投資の際に活用する。
繰入金	現在繰入金はない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	中心市街地にあり、収益が見込める場所であることから、効率的な運営に努め、財源の確保に努める。
その他の取組	特になし。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	指定管理者制度を導入しており、5年毎に委託料を見直している。
管理運営費	これまでの経費等勘案し、必要最低限の経費で賄う。
職員給与費	市職員1人(兼務)で行う。
その他の取組	特になし。

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	運営する各駐車場は、中心市街地に立地しており、買い物客、観光等の駐車場として機能しており、商店街を含めた中心市街地の集客力を高めることや、道路交通円滑化を図るための機能を有している。
公営企業として実施する必要性	駐車場事業を継続的に運営することで、道路交通の円滑化を図るとともに、中心市街地への来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図る必要がある。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年の決算や経営比較分析表を活用し、進捗管理を行う。 また、5年毎に行っている指定管理者の更新時に併せて計画の見直しを行う。
---------------------	---

投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	年												
		前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度 (決算) (見込)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収益的収入	1 総収入	48,539	51,375	42,707	46,962	48,619	48,214	47,816	47,425	47,040	46,789	46,287	45,920	45,558
	(1) 営業収入	48,033	51,365	42,706	46,961	48,618	48,213	47,815	47,424	47,039	46,788	46,286	45,919	45,557
	了料金収入	48,033	51,365	42,706	46,961	48,618	48,213	47,815	47,424	47,039	46,788	46,286	45,919	45,557
	イ 受託工事収入													
	ウ その他													
	(2) 営業外収入	506		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	了他会計繰入金													
収益的支出	2 総費用	26,903	26,256	28,457	31,472	30,691	30,754	31,938	31,600	31,604	31,540	31,540	31,260	32,672
	(1) 営業費用	24,550	23,890	26,036	29,059	28,325	28,421	29,555	29,660	29,344	29,371	29,330	29,073	30,509
	了職費													
	イ 退職手当													
	ウ 退職手当													
	(2) 営業外費用	2,353	2,366	2,421	2,413	2,366	2,333	2,278	2,301	2,256	2,233	2,210	2,187	2,163
	了支払利息	316	312	321	314	267	234	202	179	157	134	111	88	64
イ 一時借入金利息														
資本的収入	3 収支差引	21,636	25,119	14,250	15,490	17,928	17,460	15,960	15,487	15,440	15,185	14,747	14,660	12,886
	(A)-(D)	2,037	2,054	2,100	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099
	(E)	16,438	15,100											
	(F)	14,300												
	償													
	標準化													
	償													
資本的支出	2 資本的支出	38,074	32,983	21,486	15,490	17,928	17,460	15,960	15,487	15,440	15,185	14,747	14,660	12,886
	(G)	17,720	20,182			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	改良費													
	(1) 建設													
	了職員給与													
	(2) 地方償還金	2,565	2,591	2,618	3,869	6,672	8,957	7,198	7,218	7,237	7,257	7,277	7,297	7,317
	(H)													
資本的収支	3 収支差引	△ 21,636	△ 17,883	△ 21,486	△ 15,490	△ 17,928	△ 17,460	△ 15,960	△ 15,487	△ 15,440	△ 15,185	△ 14,747	△ 14,660	△ 12,886
	(F)-(G)													

投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度 (決算) (見込)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収支再差引	(E)+(I)		7,236	△ 7,236										
積立金	(K)													
前年度からの繰越金	(L)			7,236										
前年度繰上充用金	(M)													
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)		7,236											
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)													
実質収支	(P)		7,236											
(N)-(O)	(Q)													
赤字比率	$\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$													
収益的収支比率	$\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$	164.7	178.1	137.4	132.9	130.1	121.4	122.4	121.1	121.1	120.4	119.2	119.1	113.9
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額	(R)													
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	48,033	51,365	42,706	46,961	48,618	48,213	47,815	47,424	47,039	46,788	46,286	45,919	45,557
地方財政法による 資金不足の比率	$\frac{(R)}{(S)} \times 100$													
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額	(T)													
健全化法施行令第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)													
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模	(V)													
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	$\frac{(T)}{(V)} \times 100$													
他会計借入金残高	(W)													
地方債残高	(X)	62,591	89,399	86,781	82,912	76,240	67,283	60,085	52,867	45,630	38,373	31,096	23,799	16,482
○他会計繰入金														

(単位:千円)

区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (決算) (見込)	本年度 (決算) (見込)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収益的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
資本的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
合計														

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛媛県八幡浜市 新川駐車場

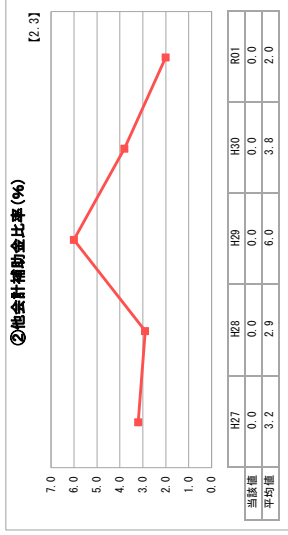
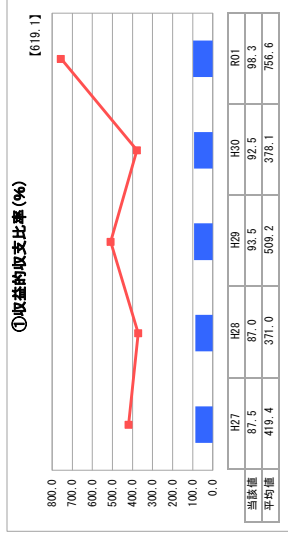
業務名	業種名	事業区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種別	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	45	

立地	周辺駐車場の需給家数調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	無	2,639
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
161	120	代行制

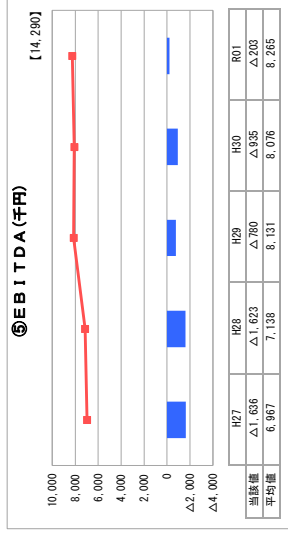
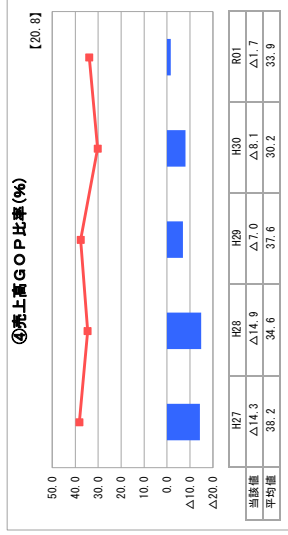
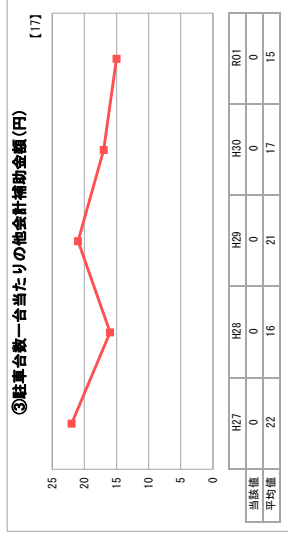
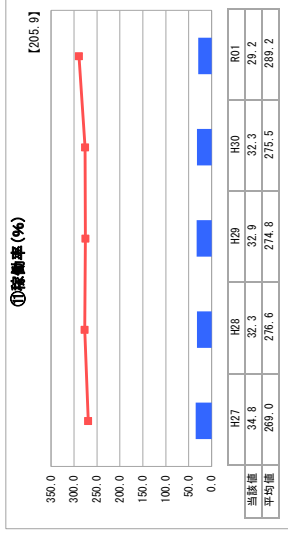
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

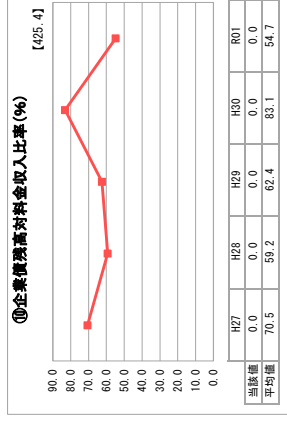
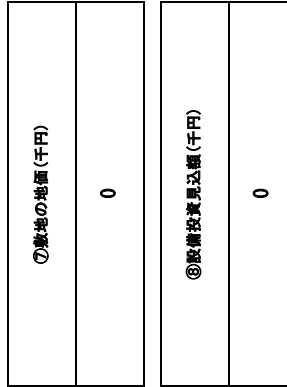
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率  
 100%に満たない赤字状態が続いている。駐車場付きの商業施設の増加や近隣の駐車場整備、人口減少等により、使用料収入は年々減少傾向にある。主な支出は指定管理料であり、5年毎に見直している。

④売上高GOP比率  
 ⑤EBITDA  
 平均値を大きく下回っている。近年は収支が赤字で、利益が出ていない状況にある。

2. 資産等の状況について  
 ⑥設備投資見込額  
 4年以内で大規模改修を行っているが、今後廃止に向けて検討しているため、設備投資は見込んでいない。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率  
 平均値を大きく下回っており、年々減少傾向にある。時間貸し駐車場の利用については、年々減少傾向にあるが、定期利用については、ほぼ同程度で推移している。

③時間貸し駐車場の利用者減少の要因としては、駐車場付き商業施設の増加や近隣駐車場の整備、人口の減少が考えられる。

全体総括  
 現状の状況については、現在赤字となっており、利益が出ていない。定期駐車場の利用者数はほぼ横ばいであるが、時間貸し駐車場の増加や近隣駐車場の整備、駐車場付き商業施設の増加や近隣駐車場の整備、人口減少等により減少している。さらに4年以内の大規模改修には約2,500万円の費用がかかるため、今後廃止を検討している。



# 経営比較分析表（令和元年度決算）

## 愛媛県八幡浜市 駅前駐車場

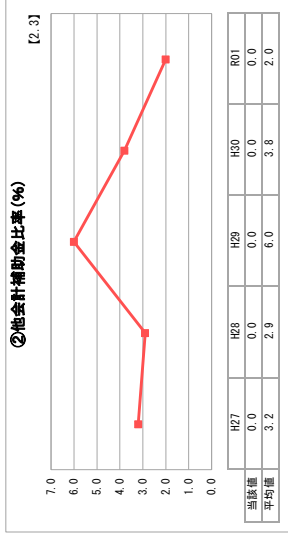
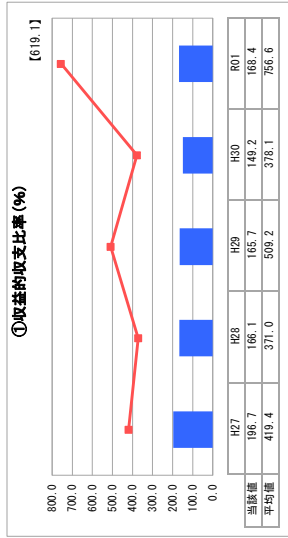
業務名	業種名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	27	

立地	周辺駐車場の需給家数調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	384
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
11	120	代行制

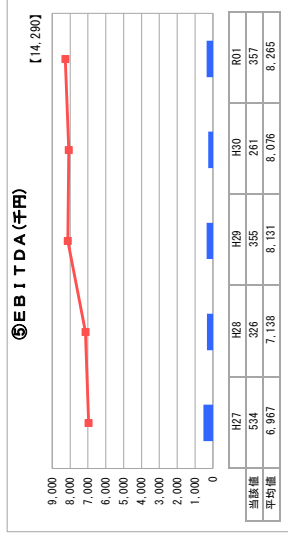
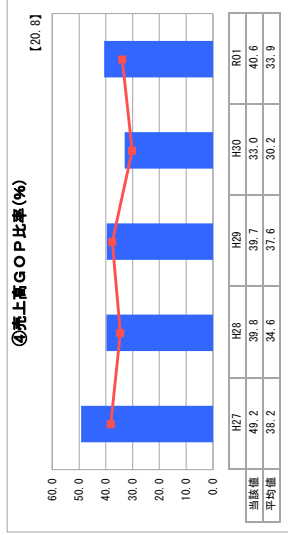
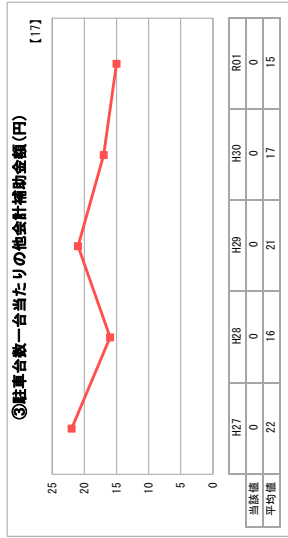
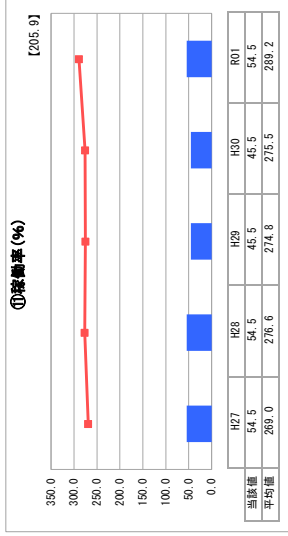
### グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

### 1. 収益等の状況



### 3. 利用の状況



### 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率  
 類似施設を大きく下回っている。主な支出は指定管理料であり、5年毎に見直しをしている。  
 ④売上高GOP  
 ⑤EBITDA  
 売上高GOPについては、類似施設と比較してほぼ平均的な数値となっている。  
 EBITDAは平均値を大きく下回っているのは、収容台数が11台と少なく、小規模な駐車場であるため、利益そのものの額が小さいことが原因として挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 ③設備投資見込額  
 平面駐車場であり、大きな改修等新たな設備投資は見込んでいない。

### 3. 利用の状況について

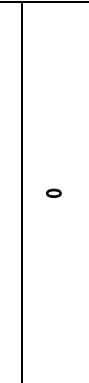
①稼働率  
 近年はほぼ横ばいで推移している。類似施設平均を大きく下回っており、同路線の他の時間貸し市営駐車場と比較しても数値は下回っている。中心市街地から少し離れた敷地に位置していることが、稼働率の低い原因と考えられる。

### ⑤有形固定資産減価償却率(%)



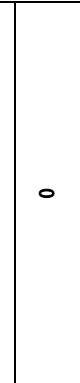
該当数値なし

### ⑦敷地の地価(千円)



0

### ⑨設備投資見込額(千円)



0

### 2. 資産等の状況

### ⑨企業業績増対利益収入比率(%)



該当数値なし

### 全体総括

収入は中心市街地にある同じ形態の駐車場と比較して少ない。指定管理者制度を導入しているため、主な支出はその指定管理料である。平面駐車場であり、今後大きな改修等を行う予定はない。



# 経営比較分析表 (令和元年度決算)

愛知県八幡浜市 朝潮構駐車場

業務名	業種名	事業区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	施設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	34	

立地	周辺駐車場の需給系調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	無	727
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
31	0	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
■ 類似施設平均値 (平均値)
□ 令和元年度全国平均

### 1. 収益等の状況

#### ①収益的収支比率 (%)

当該値	4,097.5	909.6	1,135.0	2,025.9	2,214.1
平均値	419.4	371.0	509.2	378.1	756.6

#### ②池会計補助金比率 (%)

当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	3.2	2.9	6.0	3.8	2.0

#### ③駐車台数一台当たりの池会計補助金額 (円)

当該値	0	16	21	17	15
平均値	22	16	21	17	15

#### ④売上高GOP比率 (%)

当該値	97.6	89.0	91.2	95.1	97.6
平均値	33.2	34.6	37.6	30.2	33.9

#### ⑤売上高GOP (千円)

当該値	6,967	7,138	8,131	8,076	8,265
平均値	6,967	7,138	8,131	8,076	8,265

#### ⑥売上高GOP

当該値	289.0	276.6	274.8	275.5	289.2
平均値	289.0	276.6	274.8	275.5	289.2

#### ⑦敷地の地価 (千円)

0

#### ⑧敷地投資見込額 (千円)

0

#### ⑨有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし

#### ⑩企業業績高対利益収入比率 (%)

当該値	70.5	59.2	62.4	83.1	54.7
平均値	70.5	59.2	62.4	83.1	54.7

### 2. 資産等の状況

### 3. 利用の状況

### 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率  
 定期駐車場のみの駐車場であり、収入はほぼ構内ばいである。支出については、主に光熱費と修繕費であり、修繕費各例年より多く支出した平成28年度及び平成29年度以外は、収益的収支比率は高くなっている。  
 ④売上高GOP  
 売上高GOPは、類似施設平均値を上回っており、収益率は高く安定している。  
 EBITDAが平均値を下回っているのは、収容台数が少ない小規模な駐車場であることから、利益そのものの額が少ないことが原因と考えられる。

2. 資産等の状況について  
 ⑦敷地の地価  
 平面駐車場であり、大きな改修等、新たな設備投資は見込んでいない。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率  
 定期駐車のみであり、ほぼ空きがない状態であるので、ほぼ100%で推移している。

全体総括  
 電灯に係る光熱費と修繕費であり、平面駐車場、機械等の設備もないため、大きな支出はない。駐車場も定期駐車のみであり、ほとんど空きの状態であるため収入は安定しており、営業に関する収益性は高い。

# 経営比較分析表 (令和元年度決算)

愛知県八幡浜市 北浜立体駐車場

業務名	業種名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	24	

立地	周辺駐車場の需給系観調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
商業施設	無	11,994
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
534	0	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
■ 類似施設平均値 (平均値)
□ 令和元年度全国平均

### 1. 収益等の状況

**①収益的収支比率(%)** [019.1]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	218.5	212.4	257.6	243.0	301.2
平均値	218.5	151.2	212.4	243.0	756.6

**②池会計補助金比率(%)** [2.3]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	4.7	4.0	2.4	2.3	2.0
平均値	4.7	4.0	2.4	2.3	2.0

**③駐車台数一台当たりの池会計補助金額(円)** [17]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	46	39	25	23	0
平均値	46	39	25	23	15

**④池会計補助金比率(%)** [20.8]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	33.2	29.6	61.2	30.4	33.9
平均値	33.2	65.4	61.2	30.4	66.8

**⑤売上高GOP比率(%)** [14.290]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	13.579	17.033	15.051	14.016	8.219
平均値	37.496	31.688	13.314	28.625	8.265

**⑥売上高GOP比率**

④売上高GOP比率は、類似施設平均値を上回っており、EBITDAは、平成並みとなったが、類似施設の平均値を下回っている。

**2. 資産等の状況**

**⑦敷地の地価(千円)**

666

**⑧敷地投資見込額(千円)**

0

**⑨有形固定資産減価償却率(%)**

該当数値なし

**⑩企業債対高対利益収入比率(%)** [425.4]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	280.0	239.6	224.1	152.5	0.0
平均値	280.0	239.6	224.1	152.5	54.7

### 3. 利用の状況

**①稼働率(%)** [205.9]

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	138.9	138.7	139.3	135.3	289.2
平均値	39.3	44.2	43.3	40.1	41.9

**②稼働率の状況について**

①収益的収支比率  
平成25年に時間貸し駐車場を廃止し、平成26年度より既築の繰返が終了したことから、平成27年度より収益が大きく改善している。

④売上高GOP比率  
⑤EBITDA  
売上高GOPは、類似施設平均値を上回っており、利益率は高い。EBITDAは、平成並みとなったが、類似施設の平均値を下回っている。

**2. 資産等の状況について**

⑥企業債対高対利益収入比率  
平成26年度に既築債の償還が終了している。

**3. 利用の状況について**

①稼働率  
稼働率を廃止後、定期契約者は増加傾向にあったが、駐車スペースの減少傾向により、類似施設平均値を下回っている。

**全体総括**

時間貸し駐車場を廃止後、1~2階フロアを隣接する商業施設に貸し出しており、定期駐車場の契約者も増加したため、営業に關する収益性を表す指標である売上高GOP比率は類似施設平均値を上回っている。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛知県八幡浜市 中央駐車場

業務名	業種名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	21	

立地	周辺駐車場の需給系観調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	913
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
33	120	代行制

**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

### 1. 収益等の状況

**①収益的収支比率(%)** [019.1]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	443.6	355.6	592.4	385.3	309.8
平均値			358.6	464.8	227.5

**②池会計補助金比率(%)** [2.3]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	2.3	2.7	2.3	9.7	1.7
平均値					

**③駐車台数一台当たりの池会計補助金額(円)** [17]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	0	0	82.9	74.1	67.7
平均値	48	54	33	14	7

**④売上高GOP比率(%)** [20.8]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	79.7	81.7	82.9	74.1	67.7
平均値	33.4	32.3	22.3	33.6	33.4

**⑤売上高GOP比率(%)** [205.9]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	169.7	175.8	181.8	190.9	197.0
平均値	154.1	151.6	151.2	159.7	164.6

**⑥売上高GOP比率(%)** [14.299]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	3,787	3,848	4,062	2,796	3,051
平均値	9,663	9,019	8,406	7,531	24,488

**⑦敷地の地価(千円)**

64

**⑧敷地投資見込額(千円)**

0

**⑨有形固定資産減価償却率(%)**

該当数値なし

**⑩企業業績高対料金収入比率(%)** [425.4]

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	85.4	68.9	59.6	51.8	1,555.0

### 2. 資産等の状況

**①稼働率**

稼働率の状況については、令和元年度は比率が下がっている。

**②資産等の状況**

資産等の状況については、令和元年度は比率が下がっている。

### 3. 利用の状況

**①稼働率**

稼働率の状況については、令和元年度は比率が下がっている。

**②稼働率**

稼働率の状況については、令和元年度は比率が下がっている。

**③利用の状況**

利用の状況については、令和元年度は比率が下がっている。

### 全体総括

収入は減少傾向にあるが、営業に関する収益性は平均値以上である。稼働率についても平均値以上の値となっている。中心市街地に位置するため、買い物客等の利用が多い。平成30年度に30分無料を導入したことにより、収入は減少したが、利用台数は増加している。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛媛県八幡浜市 新町角駐車場

業務名	業種名	事業区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	9	

立地	周辺駐車場の需給系観調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
商業施設	無	179
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
9	120	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
■ 類似施設平均値 (平均値)
□ 令和元年度全国平均

### 1. 収益等の状況

#### ①収益的収支比率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	419.4	371.0	509.2	378.1	756.6
平均値					

#### ②池会計補助金比率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	3.2	2.9	6.0	3.8	2.0
平均値					

#### ③駐車場一台当たりの池会計補助金額(円)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	0	0	14	0	0
平均値	22	16	21	17	15

#### ④売上高GOP比率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	269.0	276.6	477.8	500.0	466.7
平均値					

#### ⑤EBITDA

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	6,967	7,138	8,131	8,076	8,265
平均値					

#### ⑥売上高GOP比率

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	269.0	276.6	477.8	500.0	466.7
平均値					

#### ⑦稼働率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	269.0	276.6	477.8	500.0	466.7
平均値					

#### ⑧稼働率対料金収入比率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	70.5	59.2	62.4	83.1	54.7
平均値					

### 2. 資産等の状況

#### ①敷地の地価(千円)

61

#### ②有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

#### ③敷設投資見込額(千円)

0

#### ④企業債残高対料金収入比率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	1,173.0	1,102.3	973.2	1,149.4	942.3
平均値					

### 3. 利用の状況

#### ①稼働率(%)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	269.0	276.6	477.8	500.0	466.7
平均値					

#### ⑤EBITDA(千円)

年度	H27	H28	H29	H30	RO1
当該値	6,967	7,138	8,131	8,076	8,265
平均値					

### 分析欄

1. 収益等の状況について

- ①収益的周知比率
  - ①収益的周知比率
  - ②他会計補助金比率
 平成26年度より既参値の元金償還が開始され、比率は減少傾向にある。また、平成29年度は他会計が繰り入れを行った。
- ②売上高GOP比率
- ③EBITDA

売上高GOP比率は、類似施設平均値を上回っていることから、収益性は高く、数値も安定している。EBITDAが類似施設平均値を下回っているのは、収容台数が9台と小規模な駐車場であり、利益が少ないことが原因として挙げられる。

2. 資産等の状況について

- ④設備投資見込額

平面駐車場であり、大きな改修等新たな設備投資は見込んでいない。

⑤企業債残高対料金収入比率

平均値を大きく上回っているが、駐車場新設の際の借入であり、新たな借入もない。

3. 利用の状況について

- ①稼働率

市営駐車場の中で最も稼働率が高く、類似施設平均値を上回っている。市内中心部に位置しているため、買い物客を含め幅広く活用されている。

**全体総括**

既参償還金の支出により、収益的収支比率は100%以下となっているが、稼働率も高く利用者数も多い。営業に関する収益性を著す指簿である売上高GOP比率も平均以上を維持している。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛媛県八幡浜市 千代田町ちやんぼん駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	施設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	2	

立地	周辺駐車場の供給系調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
商業施設	無	478
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
18	120	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
■	類似施設平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

<h3>1. 収益等の状況</h3>																																					
<p>①収益的収支比率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>122.8</td><td>180.3</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>378.1</td><td>756.6</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	122.8	180.3	平均値	-	-	-	378.1	756.6	<p>②池会計補助金比率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>3.8</td><td>2.0</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	0.0	0.0	平均値	-	-	-	3.8	2.0
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	122.8	180.3																																
平均値	-	-	-	378.1	756.6																																
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	0.0	0.0																																
平均値	-	-	-	3.8	2.0																																
<p>③駐車台数一台当たりの池会計補助金額(円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>17</td><td>15</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	0	0	平均値	-	-	-	17	15	<p>④売上高GOP比率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>18.6</td><td>49.5</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>30.2</td><td>33.9</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	18.6	49.5	平均値	-	-	-	30.2	33.9
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	0	0																																
平均値	-	-	-	17	15																																
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	18.6	49.5																																
平均値	-	-	-	30.2	33.9																																
<p>⑤有形固定資産減価償却率(%)</p> <p>該当数値なし</p>	<p>⑥敷地の地価(千円)</p> <p>61</p>																																				
<p>⑦収益の状況</p>	<p>⑧設備投資見込額(千円)</p> <p>0</p>																																				
<p>⑨有形固定資産減価償却率(%)</p> <p>該当数値なし</p>	<p>⑩敷地の地価(千円)</p> <p>61</p>																																				
<p>⑪設備投資見込額(千円)</p> <p>0</p>	<p>⑫設備投資見込額(千円)</p> <p>0</p>																																				
<p>⑬売上高GOP比率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>3.8</td><td>2.0</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	0.0	0.0	平均値	-	-	-	3.8	2.0	<p>⑭売上高GOP比率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>177.8</td><td>388.9</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>275.5</td><td>289.2</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	177.8	388.9	平均値	-	-	-	275.5	289.2
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	0.0	0.0																																
平均値	-	-	-	3.8	2.0																																
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	177.8	388.9																																
平均値	-	-	-	275.5	289.2																																
<p>⑮企業債残高対利益収入比率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>145</td><td>774</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>8,076</td><td>8,265</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	145	774	平均値	-	-	-	8,076	8,265	<p>⑯EBITDA(千円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>145</td><td>774</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>8,076</td><td>8,265</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	145	774	平均値	-	-	-	8,076	8,265
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	145	774																																
平均値	-	-	-	8,076	8,265																																
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	145	774																																
平均値	-	-	-	8,076	8,265																																
<p>⑰利用の状況</p>	<p>⑱企業債残高対利益収入比率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>145</td><td>774</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>8,076</td><td>8,265</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	145	774	平均値	-	-	-	8,076	8,265																		
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	145	774																																
平均値	-	-	-	8,076	8,265																																
<p>⑲利用の状況</p>	<p>⑳企業債残高対利益収入比率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>145</td><td>774</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>8,076</td><td>8,265</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	145	774	平均値	-	-	-	8,076	8,265																		
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	145	774																																
平均値	-	-	-	8,076	8,265																																
<p>⑳利用の状況</p>	<p>㉑企業債残高対利益収入比率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R01</th></tr> <tr><td>当該値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>145</td><td>774</td></tr> <tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>8,076</td><td>8,265</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R01	当該値	-	-	-	145	774	平均値	-	-	-	8,076	8,265																		
年度	H27	H28	H29	H30	R01																																
当該値	-	-	-	145	774																																
平均値	-	-	-	8,076	8,265																																

**分析欄**

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率  
平成30年8月に開設した駐車場であり、今年度は防犯カメラの設置を行ったため類似施設と比較して数値が低くなっている。  
 ④売上高GOP比率  
 ⑤EBITDA  
売上高GOP比率は、今年度1年を通して稼働し、収入額が増えたため、類似施設の平均値を上回っている。  
 EBITDAが類似施設平均値を下回っているのは、収容台数が18台と小規模な駐車場であり、利益が少ないことが原因として挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 ⑥設備投資見込額  
平面駐車場であり、平成20年8月開設と新しいため、大きな改修等新たな設備投資は見込んでいない。  
 ⑩企業債残高対利益収入比率  
駐車場新設に係る企業債であり、平均値を大きく上回っているが、新たな借入はない。

3. 利用の状況について  
 ⑭稼働率  
1年を通して稼働し、2年目で駐車場が認知されてきたため、稼働率が上がっている。

**全体総括**  
 収益的収支比率も100%を超えており、稼働率も高くなっている。営業に関する収益性を表す指標である売上高GOP比率も平均値以上となっている。中心市街地に位置しているため、買い物客等利用が多い。